

ふれあい通信

平成27年1月号



発行：国保坂下病院広報委員会 TEL 0573-75-3118

ホームページアドレス <http://sakashita-hp.jp/>

「ふれあい通信」は坂下病院ホームページでも御覧いただけます

連載こくほ四方山話

病院長 高山 哲夫



あけまして

おめでとう

ございます

今年もよろしく

お願いいたします



(113 華佗もびっくり)



正月に「無病息災」「健康長寿」を願って飲むお屠蘇には、山椒や肉桂など7種類または8種類の薬草が入っています。その処方、三国志に出て来る魏国の伝説の名医「華佗」が考案したものとされています。華佗は、鍼灸、薬学に優れ

た名医であり、麻沸散と云う麻醉薬を用いて腹部の腫瘍切除や胃や腸の手術を行った、外科手術の名手でもあったと伝えられています。年齢は100歳以上であったとも言われますが、外見はとても若々しく40代

にしが見えなかったそうです。一説では、不老不死の薬の処方も持っていたそうです。しかし、彼が魏の曹操の意向に従わなかったため殺されてしまい、その処方も失われたとされています。医師にとっては理想の華佗ですが、そんな彼が現在の日本を見たらどう思うでしょう。世界に冠たる長寿国日本。「不死薬の処方はいらなかった。」と思うかもしれません。

そんな我が国でも、織田信長の時代には「人生五十年」と言われ、多くの方が50歳前後で亡くなっています。(上杉謙信49歳、武田信玄52歳) 明治になって、明治天皇61歳、福沢諭吉66歳、と少し寿命が延びました。戦後、池田隼人66歳、佐藤栄作74歳、田中角栄75歳、大平正芳70歳、とさらに10歳くらい長寿となり、現在は80歳は当たり前、90歳、100歳が珍しくなくなりました。華佗もびっくりするような長寿が、どのようにして実現したのでしょうか。日本の医師がみんな華佗

のような名医になったからか？違いますね。生活が豊かになったこと、環境が良くなったこと、すぐに受診できる医療体制の充実、健康づくり活動の成果であるうと思います。

「国民健康保険坂下病院」の名称にあるように、国民健康保険制度が定められてから、日本国民は全て健康保険で医療を受けられるようになっていきます。こんな国は他にはありません。とかく当たり前になってしまいましたが、かつて医療を受けるために、家屋敷や田畑を売り払った、怪しげな民間療法のために生命を縮めてしまった悲しい歴史があったことを、私達は忘れてはなりません。安心して医療を受けられる幸せを感じると共に、出生率の低下と高齢化の中で、公平な医療受診機会を危うくするような動きもあることも念頭に入れておくべきでしょう。

もう一つ、私達が考えなければいけないことは「華佗は100歳を超えていると思われたが40代くらいにしか見えなかった」です。いくら長生きしても、寝たきりではつまらない。社会の一員として元気に生活してこそ、長寿の価値があります。「高齢者が増えると医療が増加する」そんな国の試算を打破して行かなければなりません。みんな元気な高齢社会なら、医療費も増加しません。



お手本は長野県でしょう。保健師活動の充実と、よく動くことが長野県の長寿をもたらしています。歩けなくなることは、人間の全ての機能の低下を招いてしまいます。人間以外の動物では、動けなくなれば食物を得ることはできず、敵から逃れることもできず、生命の終わりを意味します。動くことにより骨も丈夫になります。

坂下でも、最近歩いてる皆さんをよく見かけます。数年前に、お正月に沢山の方が歩いてる姿を見て、とても感動した記憶があります。

みんなが動いて若返れば「不老の薬」もいらなくなる。

そんなことを考えていたら、屠蘇の酔いが回って来ました。



連載 医師のひとりごと

副院長 近藤真治

新年明けましておめでとうございませう。昨年末は年明け前から寒さと雪で大変でありましたが、正月以降の天候はいかがでしょうか。年齢とともに寒さに弱くなり、暖冬を願うばかりです。

さて、今回は少し外科らしいお話を。けがの対処についての話題です。最近「赤チン」なるものをほとんど見かけなくなりました。「赤チン」とは赤いヨードチンキという意味で使われていたようですが、正確には中身が違います。実際はヨードチンキではなく、マーキュロクロム液です。メルブロミンの水溶液で、確かに赤く、皮膚に付着すると結構しつこく残っていますね。この中には有機水銀が使われており、使用には毒性が少ないですが、製造の過程で水銀を取り扱うため、現在は製造中止となっています。一部に輸入品はあるようですが、国産品はもうありません。

当院では現在、傷の処置に消毒することを勧められています。以前は家庭の医薬品に赤チンは必携でしたが、傷にその使用をお勧めしませんし、さらに傷ついた直後には他の消毒も勧めしていません。ここ十数年来の考え



方ですが、原則としてガーゼと消毒薬での治療をやめて、「消毒をしない」「水道水でよく洗う」「乾かさなさい」を3原則として行う治療法が主流となりました。消毒薬は、確かにばい菌を殺す作用はありますが、さらに自分の組織をも痛めつけてしまい、傷の治るのが遅れると言われています。新鮮な傷にはまず、きれいな水（水道水で十分です）で洗います。ばい菌を殺すのではなく、洗い流すことではないわけです。その方が消毒薬の痛みもなく、楽だと思います。その後、傷口は乾かさずに、自分の傷面から出る滲出液で（液の中には細胞成長因子がたくさん含まれる）湿潤状態に保つと、従来の治療に比べて痛くなく、きれいに早く治るといえるのです。軟膏を使ったり、最初は止血などを兼ねてガーゼで圧迫することもありますが、早々に傷口を何らかの素材で覆ってしまうことが多いです。ただし、傷ついてからかなり時間がたっていて、すでにばい菌がついて（感染して）しまったり、犬

や猫の咬み傷のように小さくても深い傷は、なかなか中まで洗えずに、感染してしまう恐れがあり、その時は医師の判断でそれぞれ対処がなされると思います。

これからも皆さんがどこかでけがをした時は、まず、洗うこと、特に流水で洗って下さい。赤チンをつけて来院されると、出血しているのか！と、こちらはびっくりしてしまいます。医者を脅かさないためにも、よろしくお願い致します。

連載 病院めぐり ⑤

坂下病院 4階東病棟

「笑顔、元気さ、

そして気づかい」



新年あけましておめでとうございませう。4階東病棟師長の徳田です。今月の病院めぐりでは、4階東病棟の紹介をさせていただきます。

みなさんは、坂下病院の一般病棟（3階西、4階西病棟）と療養型病棟（4階東病棟）の違いはおわかりでしょうか？簡単に違いを言いますと、一般病棟は急性期の患者さんのため



の病棟で、療養型病棟は慢性期の患者さんのための病棟です。

一般病棟は、入院期間も短期（約1か月前後）で、手術や全身管理などが必要な状況のため、医師、看護師が中心になって治療をする病棟になります。それに対して療養病棟は、介護負担軽減や、一般病棟での入院が長期化し、退院に向けての調整が必要な患者さんなどが利用する病棟になります。つまり、医療や看護などを受けられ、更に介護の体制が整った病棟と言えます。病状の落ち着いている患者さんが多く利用されているので、配置されているスタッフは一般病棟と異なっており、看護師13名に対して介護福祉士17名と看護助手1名という体制で働いています。

みなさんは、療養型病棟で多く勤務している「介護福祉士」と言う職種が、どのような仕事をしているかご存知ですか？少し紹介させて頂きたいと思います。

この職種は、身体介護、日常生活

活援助などの専門的知識・技術を持つており、具体的には患者さんの移動（車椅子での移動・ベットから車椅子への移乗・歩行補助）、入浴、排泄、食事、洗面、歯磨き、衣服の着脱の介助など、日常生活のあらゆる動作の介助を行っている職種です。加えて、患者さんたちが元気を失

われないようにレクリエーションを取り入れていきます。昨年は、1月：演奏会、2月：豆まき、7月：七夕、9月：敬老会、10月：運動会、12月：クリスマス会と、季節の行事を楽しんで頂けるよう、介護福祉士が中心になって計画・実行しました。

新しい年が始まり、看護・介護の体制が整った中で、スタッフ一同「笑顔、元気さ、そして気づかい」をモットーに患者さんと関わっていききたいと思っております。

在宅での介護負担軽減を希望される方など、是非、4階東病棟を利用して頂くよう、宜しくお願ひします。



アンケート結果のお知らせ

お知らせ

平成26年9月8日から30日まで、患者さんを中心とした来院者、入院患者さんの皆様に対して、品質方針や、外来及び入院環境について「当院ご利用の皆様へのアンケート調査」を実施させていただきました。今回のアンケート調査では、505名の皆様のご協力が得られました。ありがとうございました。

アンケートでは、診療の待ち時間について、職員の対応について、医師の診察について、院内環境について、などをお聞きしました。今回、別紙にて結果を報告させていただきます。

この結果を院内の各部署に周知し、皆様により信頼される病院運営に今後も努力して参りますので、よろしくお願ひいたします。

（坂下病院）

QMS管理委員会

連載 四季の花

坂下病院 花暦



平成23年2月発行の「ふれあい通信190号」から4年間に渡り「連載 四季の花」坂下病院「花暦」を提供していただきました三浦貞夫さんが、平成26年12月に73歳でお亡くなりになりました。今までに提供して頂いた絵は、今回の「笠置山の夕日」を含めて50点にもなります。体調のすぐれないときもあったと思いますが、毎月必ず「ふれあい通信」のために絵を届けてくださいました。

今回で連載は終了となりますが、三浦さんのご冥福をお祈りすると共に、心より感謝を申し上げます。三浦貞雄さん、奥さま、ご家族の皆様、本当にありがとうございました。

（笠置山の夕日）



職員募集！ 看護師・准看護師

坂下病院で勤務していただける方を募集しています。

看護力が、この地域の住民の皆様を支えます。

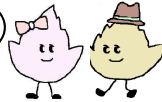
- ・60歳未満の方、性別は問いません。
- ・勤務時間など相談に応じます。

ご連絡をお待ちしています。

連絡先：0573-75-3118（内線210）

松本看護部長
吉村副看護部長

お待ちしております



＊ 坂下老人保健施設でも、看護師、准看護師、介護職員の募集を行っています。

☆ お 知 ら せ ☆

催し物	日 時・場 所	内 容
糖尿病食試食会	1月 13日（火） 1月 27日（火） 午前11時～3階食堂	予約：坂下病院栄養科（内線164） お電話でおねがいします。 会費：310円（食材費）
ふれあい健康塾	今年中に開催開始予定です。	

☆坂下病院各科診療表 診療状況により予約時間どおりには受診できない場合があります。予めご了承ください。
(平成27年1月現在) 予約変更などのお問合せは、平日午後2時以降に各科受付窓口へお願い致します。

診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科	第一(予約)	高山	酒井	高山(午前)	高山(午前)	酒井
	第二(予約)		近藤【呼吸器】	伊藤(午後)	高塚	田口【呼吸器】午後
	第三(予約)	信太(午前)	村瀬	信太		高塚(午前)
	新患外来	酒井	高塚	伊藤	信太	高山
	午前内科		大野【神経内】第3			佐橋【神経内】第1.3
	午後診療特殊			井上【漢方】第2.4 13:00～ 青木【腎臓】隔週		渡邊【腎臓】隔週
	午後診療	高塚	高塚	高塚	酒井	信太
外科	第一	横井	保坂【血管外科】			成田(第2) 田畑(第4)
	第二	近藤	近藤	近藤	近藤	水野
整形	第一	小嶋【リウマチ】	草野	小澤	草野	草野
	第二	矢野	赤根	矢野	矢野	山下
小児科	杉本	杉本	杉本	杉本	杉本	杉本
眼科	木下 受付11:00まで	木下	木下 受付11:00まで	木下	木下	木下
泌尿器科	渡邊			山田 第1.3.5 青木 第2.4	深津	
耳鼻咽喉科	小川	西村	清水	矢野原	稲川	
皮膚科			伊能 第1.3.5 松本 第2.4			
脳神経外科				大須賀 14:00～		
婦人科				浅井 第1.3	萬羽(午前)	

■ 当院ご利用の皆様へのアンケート結果について ■

平成26年9月8日から30日まで、患者さんを中心とした来院者、入院患者さんの皆様に対し、品質方針や外来及び入院環境について「当院ご利用の皆様へのアンケート調査」を実施させて頂き、505人の皆様のご協力が得られました。ご回答を紹介させていただきます。

◆待ち時間にご不満を持たれたことはありますか

《初診》

・不満…4% ・不満はない…83% ・どちらとも…13%

《予約》

・不満…3% ・不満はない…81% ・どちらとも…16%

・ご不満をもたれた方の初診（4%）予約（3%）の内、どの待ち時間でしたか

《初診》（25名）

・受付…12% ・診察…52% ・検査…8%
 ・放射線…4% ・リハビリ…4% ・会計…16% ・その他…4%

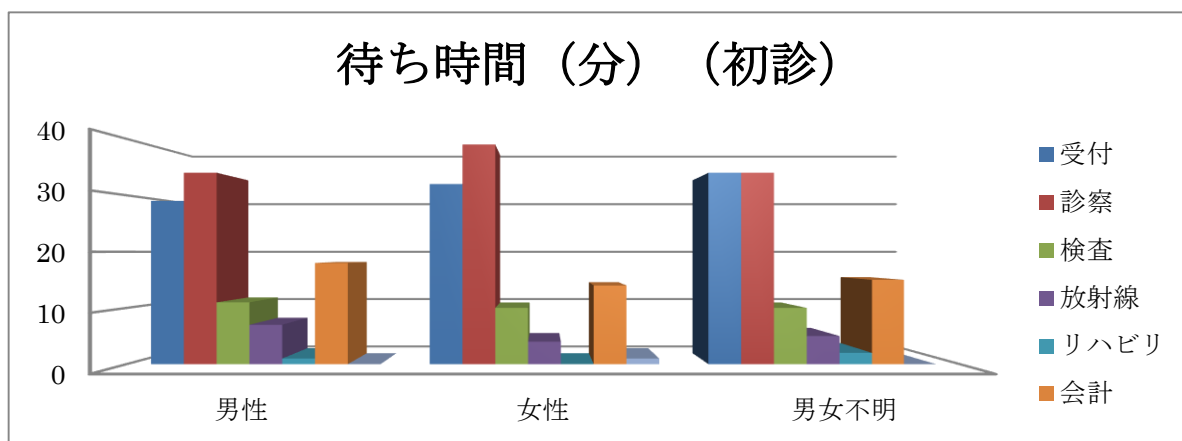
《予約》（15名）

・受付…7% ・診察…47% ・検査…20%
 ・放射線…0% ・リハビリ…0% ・会計…26% ・その他…0%

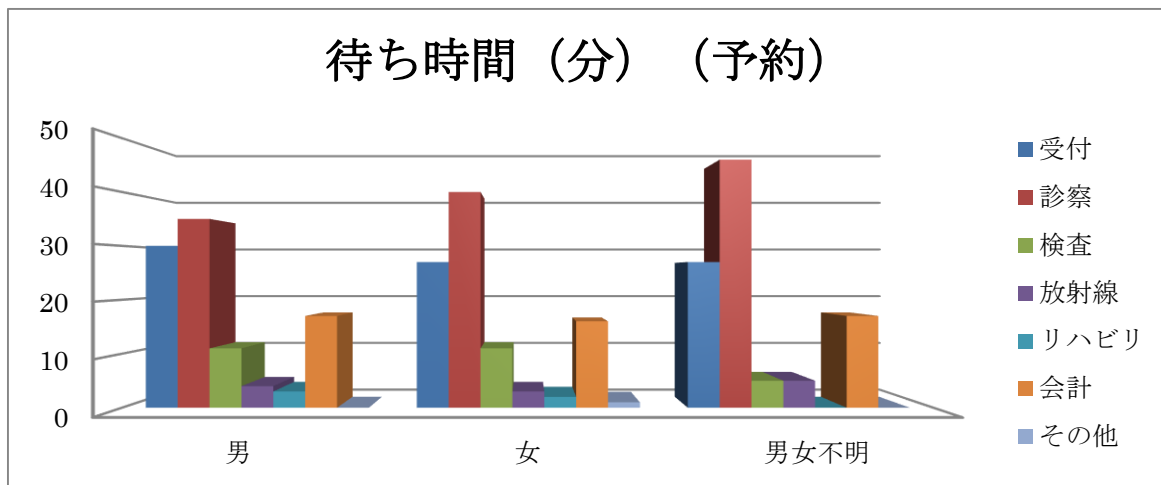
◆待ち時間はどのくらいでしたか

待ち時間

・初診



・予約



◆嫌な顔をされたことがありますか

【外来】（29名）

- ・嫌な顔をされたことがある…7%
(H25年…7%)

【入院】（6名）

- ・嫌な顔をされたことがある…12%
(H25年…2%)

・嫌な顔をされたことがある方の内、職種では

【外来】（29名）

- ・医師…31%（H25年…27%）
- ・看護師…50%（H25年…68%）
- ・受付…13%（H25年…0%）
- ・その他…6%（H25年…5%）

【入院】（6名）

- ・医師…0%（H25年…0%）
- ・看護師…100%（H25年…100%）
- ・その他…0%（H25年…0%）

◆医療行為で間違いをされたことがありますか

【外来】（18名）

- ・間違いをされたことがある人…5%
(H25年…3%)

【入院】（3名）

- ・間違いをされたことがある人…5%
(H25年…2%)

・間違いをされた事がある方の内、何を間違われたか

【外来】（18名）

- ・名前…38%（H25年…0%）
- ・検査…25%（H25年…40%）
- ・注射…0%（H25年…0%）
- ・薬…13%（H25年…60%）
- ・その他…25%（H25年…0%）

【入院】（3名）

- ・名前…0%（H25年…0%）
- ・検査…0%（H25年…0%）
- ・注射…0%（H25年…0%）
- ・薬…100%（H25年…0%）
- ・その他…0%（H25年…100%）

◆患者さんの間違いをなくすために自分で名乗ることを知っていたか

【外来】

- ・知っていた…**91%** (H25年…**88%**)
- ・知らなかった…**9%** (H25年…**12%**)

【入院】

- ・知っていた…**71%** (H25年…**68%**)
- ・知らなかった…**29%** (H25年…**32%**)

・名前を聞くことについてどう、おもいますか

【外来】

- ・良いこと…**70%** (H25年…**76%**)
- ・やむを得ない…**30%** (H25年…**24%**)

【入院】

- ・良いこと…**67%** (H25年…**80%**)
- ・やむを得ない…**33%** (H25年…**20%**)

※不愉快である答えはありませんでした。

◆診察中に「いつも電子カルテを向いていてこっちを見て貰えない」と感じた事がある

- ・ある…**21%** (H25年…**24%**)
- ・ない…**58%** (H25年…**56%**)
- ・どちらともいえない…**21%** (H25年…**20%**)

◆医師の診察内容についてどう、思いますか

【外来】

- ・満足…**29%** (H25年…**32%**)
- ・ほぼ満足…**52%** (H25年…**45%**)
- ・どちらともいえない…**15%** (H25年…**16%**)
- ・やや不満…**3%** (H25年…**5%**)
- ・不満…**1%** (H25年…**2%**)

【入院】

- ・満足…**53%** (H25年…**52%**)
- ・ほぼ満足…**38%** (H25年…**33%**)
- ・どちらともいえない…**5%** (H25年…**11%**)
- ・やや不満…**4%** (H25年…**2%**)
- ・不満…**0%** (H25年…**2%**)

・「不満」「やや不満」と答えた方の内、ご不満と思う点は

【外来】(9名)

- ・医師の対応…**22%** (H25年…**42%**)
- ・医師の説明…**78%** (H25年…**50%**)
- ・その他…**0%** (H25年…**8%**)

【入院】(5名)

- ・医師の対応…**40%** (H25年…**100%**)
- ・医師の説明…**60%** (H25年…**0%**)
- ・その他…**0%** (H25年…**0%**)

◆当院の外来環境をどう思いますか

【外来】

- ・満足…**31%** (H25年…**29%**)
- ・ほぼ満足…**50%** (H25年…**54%**)
- ・どちらともいえない…**16%** (H25年…**13%**)
- ・やや不満…**2%** (H25年…**3%**)
- ・不満…**1%** (H25年…**1%**)

【入院】

- ・満足…**55%** (H25年…**53%**)
- ・ほぼ満足…**38%** (H25年…**44%**)
- ・どちらともいえない…**7%** (H25年…**3%**)
- ・やや不満…**0%** (H25年…**0%**)
- ・不満…**0%** (H25年…**0%**)

・「不満」「やや不満」と答えた方の内、環境の不満と思った点は

【外来】（15名）

- ・駐車場…26%（前回 17%）
- ・受付…7%（H25年は項目にありませんでした）
- ・待合室…20%（H25年…25%）
- ・診察室…7%（H25年…17%）
- ・トイレ…20%（H25年…17%）
- ・照明…0%（H25年は項目にありませんでした）
- ・空調…20%（H25年…17%）
- ・その他…0%（H25年…7%）

【入院】

※入院環境について不満があるという

回答者はありませんでした。

このほか多くの方々からご貴重なご意見をいただきました。この結果を院内の各部署に周知し、皆様により信頼される病院となるよう今後も努力して参りますのでよろしくご願ひ致します。

（坂下病院QMS管理委員会）